

61 合計特殊出生率の推移

年次	全 国	東 京 都	特 別 区 部	品 川 区
平成 15 2003	0.95	0.95	0.95	0.85
16 2004	0.95	0.95	0.95	0.88
17 2005	1.26	1.00	0.95	0.88
18 2006	1.32	1.02	0.98	0.94
19 2007	0.91

- 注) 1. 「合計特殊出生率」とは、15歳から49歳(再生産年齢という)までの女子の年齢別出生率を合計したもので、再生産年齢を終えるまでに、1人あたり何人の子供を生むかを示す。
 2. 全国の合計特殊出生率は、厚生労働省が、国勢調査の日本人人口(国勢調査年)もしくは総務省統計局推計の各年10月1日現在の日本人人口(国勢調査年以外)をもとに算出したものである。
 3. 東京都区市町村の「合計特殊出生率」は、東京都福祉保健局が東京都総務局統計部「住民基本台帳による東京都の世帯と人口(各年1月1日現在)」をもとに算出したものである。
 4. 平成19[2007]年・品川区の数値は、東京都と同様の方法でもとめた「速報値」である。

資料: 厚生労働省『人口動態調査』ホームページ、東京都福祉保健局『人口動態統計』ホームページ、区民生活事業部区民課統計係

図4-5 合計特殊出生率の推移

